



発行所
〒542-0065
大阪市中央区中寺 1-1-54
大阪社会福祉指導センター内
大阪府社会福祉協議会
従事者部会
発行人 二上 英樹

ついに完成!『従事者部会70周年記念誌』

まだまだ終わりの見えない新型コロナウイルス感染症問題。施設従事者にとってもたいへんな日々が続いておりますが、感染によりお亡くなりになられた方々に対しご冥福を申しあげるとともに、入院・治療されている方々の一日も早い回復を心よりお祈り申し上げます。

さて、部会の活動ですが、令和3年度においてもコロナ禍のため積極的に活動することができませんでした。そんな状況ではありましたが、約3年前からすすめておりました従事者部会発足70周年記念誌がついに完成しました。

見やすく、施設職員の研修などにも役立てていただけるような親しみやすい記念誌にしようと、常任委員一丸となって取り組んでまいりました。後世に残る、いい記念誌ができあがったと思っています。是非ご覧ください。

今後は、部会のホームページ上でもご覧いただけるようにすすめていく予定です。

今回のかがり火の誌面においても、70周年記念誌に関連した記事も掲載させていただきました。

研修事業につきましては、昨年度から導入したオンライン開催という形式で行いました。

ご参加いただいた先生方からは、研修の内容だけでなく、他施設・他種別の職員と一緒に学べ、また情報交換できることの大切さ、楽しさを感じたとのご意見も多く寄せられました。このようなご意見からも、従事者部会の原点である人と人の『つながり』がいかに大切かを改めて認識できました。

これこそが、大阪の福祉を支えてこられた諸先輩方の思いであり、これからも継承していかななくてはならないものであると考えています。

従事者部会では、今回の70周年記念誌発行を機に、これからも施設種別の垣根を越えた職員との『つながり』を大切に、一緒に学べる、有意義で、かつ楽しい研修会を企画運営し、また身近なコミュニケーションツールとなるべく研鑽を続けていきますので、今後とも積極的な参加をお願いいたします。

結びになりますが、記念誌作成にあたり大阪府社会福祉協議会の皆さま、副部会長会議に関わる先生方をはじめ、たくさんの先生方にご協力いただき、70年の歴史をまとめることができました。この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。



従事者部会長
ワークショップかりん
二上 英樹

従事者部会の
ホームページ
公開中!!



研修レポート

第1回

集団指導者養成教室

(産経新聞厚生文化事業団 共催)

○テーマ:『基礎から学ぶ!! SDGs とは?』

～今、私たちにできること～

○講師:武庫川女子大学 教授 松端 克文氏

○日時:令和4年1月17日(月)

私は、今までSDGsについてあまり知識がなかったのですが、今回の研修でSDGsについてたくさん学び、知らず知らずのうちに自分もSDGsに取り組んでいて、これからより深い知識を持って取り組むことができることを知りました。

SDGsが掲げている目標の中の17つ目に「パートナーシップで目標を達成しよう」があります。講師の方から「独りで行うのではなくみんなで協力して達成しようという意味がある」と教えていただきました。なんだか心強い気もちになり、SDGsは楽しくできるものだと感じました。ディスカッションではさまざまな方が個人的に、または施設としてSDGsに取り組んでいることを知り、これからも正しい知識でSDGsに取り組もうと思いました。

(南河学園 納田真理子)

マナー研修

○テーマ:

- ①『コロナ禍で増えた電話・メール・LINEの今さらきけない基本ルール』
- ②『変化適応力～新しい生活様式の中で変わりつつあるマナー～』

○講師:

Brush Up Production ANys 代表 島津 ゆう子 氏

○日 時: 令和3年11月15日(月)

この研修を受ける前まで、マナーとは、自分をよく見せるものであると勘違いしていました。実際はそうではなく、マナーは、相手が嫌がることや不快な思いをさせない忠恕の心であると学びました。

具体的な言葉遣いなどは、聞けば知っているものでしたが、知っているだけでは意味がなく、実際に使えなくてはなりません。

また、マナーはルールでもなければ法律でもありません。時代によっても少しずつ変化していき、簡単に新しく作られるものでもあります。その中であっても、人を大切に作る忠恕の心は、根底に存在しており、いつでも意識する必要があります。

こういったことは単に大人同士だけで行うことではありません。私は児童養護施設で働いていますが、子どもに対しても必要になってくることだと思います。



講師の島津ゆう子氏

忠恕の心を伝えるためには、『言葉』『表情』『態度』の三要素が必要であり、そのどれもが欠けてはいけなと学びました。子どもを相手に

している場合、大抵の大人は馴れなれしくなってしまう。私自身もそうです。決してため口を使っていけないというわけではなく、伝え方を意識する必要があるのです。

つまり、上から目線や口調の悪い表現を使わず、忠恕の心を意識した言葉がけや態度を子どもであってもしていく必要があるのです。子どもと過ごすことが多い分、そこでマナーを使えるようにしたいです。

マナーは知っているだけでなく使う必要があると話しました。施設では、対外的な繋がりも子どもの支援をするうえで重要になってきます。保護者対応やワーカー対応なども行うため、マナーを使えていない職員がいると、その施設のイメージがマナーの悪い施設というイメージダウンに繋がってしまいます。

まだ二年目の私は、対外的な対応は慣れておらず、先輩任せになってしまう部分もあるので、今後対応が増えていく際は意識して使えるようにしたいです。

(生駒学園 辻岡 玲次)

第2回 集団指導者養成教室

(産経新聞厚生文化事業団 共催)

○テーマ:『石井十次の残したものの、引き継ぐもの』

—セツルメントの精神を現代に求めて—

○講師: 社会福祉法人 光徳寺善隣館 中津学園

建替準備室長 河崎 洋充 氏

○日 時: 令和4年2月21日(月)

石井十次(1865-1914:写真)は「児童福祉の父」といわれており、1987(明治20)年9月、岡山に「孤児教育会」を三友寺に開設(後に岡山孤児院と改称)。生涯において約3,000人の子どもたちを施設で養い、社会に送り出しました。孤児院はその後、十次の故郷:宮崎県茶臼村に開拓村と大阪へ進出。なぜ大阪なのか、大阪での活動を軸に置いていただき、さまざまな取り組みを、当時の写真や史料を織り交ぜながら、ユーモアたっぷりにご講話くださいました。

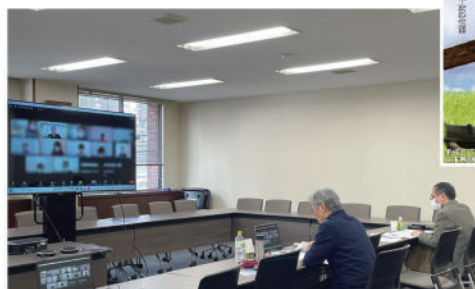
この学びを通して私自身も、施設の創設者や先人たちがどのような信念(想い)で、開設や活動してきたのかを、改めて振り返る良い機会となりました。

(東光学園 友井秀一)



石井 十次

オンライン研修のようす



映画
「石井のおとうさん
ありがとう」

新・常任委員紹介

児童養護施設 清心寮

井筒 貴史



清心寮は、堺市北区の閑静な住宅街に位置しています。近くには、世界遺産に登録された大仙古墳をはじめとした数多くの古墳があります。タヌキに会える「いたすけ古墳」は必見です。

今回、従事者部会に参加させていただくこと、とても楽しみにしております。

種別の違う施設の皆さんとともに活動する中で、多くのことを学ばせていただきたいと思います。精一杯がんばりますので、よろしくお願いいたします。

児童養護施設 聖ヨハネ学園

原田 翔太



高槻市にあります児童養護施設聖ヨハネ学園で勤務しています。今年度から従事者部会に参加させていただくことになりました。従事者部会でさまざまな業種や事業所の方と交流させていただき、職場に還元できればと考えています。

微力ではありますが伝統ある従事者部会に貢献できるように精進してまいります。

これからどうぞよろしくお願いいたします。

事務局紹介



富岡 きよら

塩田 千尋

歴史と伝統ある当部会に事務局として携わることができうれしく思います。

幅広い分野で活躍される先生方とともに、福祉の発展に貢献できるよう精一杯取り組みますので、よろしくお願いいたします。

職場奮闘記

児童養護施設 あおぞら 渡辺 葉一

子どもの福祉の仕事に就いて、20年が経ちました。最初の頃は、傷ついた心の治療のために、無我夢中で子どもと関わりました。その後、児童養護施設に多機能化が求められるようになり、この1年は一時保護専用ユニットの開設と運営に尽力しました。僕自身も、社会の要請も変わっていきます。

先日、学生時代を過ごした神戸の街を訪れました。その頃通った元町駅のジャズ喫茶。20年前と変わらず、とびきり熱くて、とびきり苦い珈琲を出し、大音量で音楽を聴かせてくれました。

変わらないものに触れ、僕はなんだか安心し、これから僕自身が施設の子らに安心を感じてもらえる、変わらないものになればと思いました。



ジャズ喫茶jamjam
神戸市中央区元町通
1-7-2-B1

当該記事は都合により
非掲載としています。

従事者部会70周年記念誌「連繫“つながり”」ができるまで

従事者部会として約40年ぶりとなる“発足からのあゆみ”をまとめた記念誌です。

後世に継承していくためにも、どのようなコンセプトで、どのような構成にしていけば良いのか、幾度となく議論を重ねました。

また、作業をすすめる中で、大阪の社会福祉を牽引されてきた先輩方たちにお会いし、従事者部会の歴史もたくさん教えていただき、貴重な資料も拝見することができました。

新型コロナウイルス感染拡大の真只中、なかなか集まっていた議論ができない状況が続きましたが、オンラインでの会議を重ねつつ、約3年の時を経てようやく完成いたしました。



■70周年記念誌小委員会を立ち上げ

(2019年3月)



まずは70年の歴史をどのように構成し、まとめていくか。

委員会メンバーで積極的な議論を何度も交わしました。そして、「若い人たちにも読みやすい冊子」、「親しみやすい冊子」にしないといけない、と意見が一致。

ここが実質のスタートとなりました。

■社会福祉法人成光苑を訪問

(2019年12月)



高岡國土理事長に、大阪の社会福祉の歴史、特に従事者部会の歴史についてお伺いし、改めて従事者部会の重みを感じることができた時間でした。

■社会福祉法人博愛社を訪問

(2020年1月)

西岡浩二施設長から創立当初からの話を伺いし、その後たくさんの貴重な資料を拝見させていただきました。大阪福祉の源流（特に児童施設の歴史）を知ることができました。



■歴代部会長の座談会を開催

(2020年9月)

歴代の部会長にお集まりいただき、部会長就任当時の苦労話や、楽しかったこと、めざしていたことなどを聞かせていただきました。

お話をお聞きし、従事者部会のめざしている方向が昔も今も変わっていないということがわかり、非常にうれしく思いました。

また、これからの従事者部会へあたたかい激励のお言葉もいただきました。



■「石井十次記念館」(岡山県岡山市)と、博愛社創設者の小橋勝之助氏の記念碑(兵庫県相生市)を訪ねました

(2020年1月)

大阪福祉の源流となる偉大な方々の活動に触れることができ、当時の思いを絶やすことなく継承していかなければいけないと、決意を新たにしました。そして、2022年2月には、「石井十次の大阪での活動」を学ぶ機会を得て、記念誌発刊に向けての締め括りとしました。(詳細は本号2面に記載)



「石井十次記念館」が敷地内に建立されている
児童養護施設「新天地育児院」正門前にて



「小橋勝之助氏」記念碑を囲んで

常任委員名簿

(令和4年7月現在)

役職等	施設種別	施設名	氏名
部会長	セल्प	ワークショップかりん	二上 英樹
副部会長	保育	みどり幼児園	橘田 浩史
	成人	白雲寮	谷 茂子
	児童	南河学園	吉原 俊夫
常任委員	児童	博愛社	西川 眞砂子
		聖ヨハネ学園	原田 翔太
		生駒学園	小田 秀治
		大阪西本願寺常照園	須川 慶祐
		清心寮	井筒 貴史
		信太学園	稲富 真由美
		あおぞら	渡邊 葉一
		翼	峯本 英輝
		若江学院	土本 貴之
	成人	みなと寮	宮武 信行
		フローラ	石田 大介
	セल्प	交野自立センター	日野 信行
		おおはま障害者作業所	脇田 美樹
		こんぷおーと	辻 正晃
	保育	たんぼぼ中条学園	三角 寛子
		船橋保育園	田中 将也
		五月橋保育所	上田 規雄
		中新開さつきこども園	大東 主範
		桃の木の森こども園	稲垣 美紀
		東羽衣こども園	淵上 佑樹
	老人	アンパス東大阪	吉野 真樹
		四天王寺悲田院養護老人ホーム	椿原 篤史
		庄栄エルダーセンター	神野 享士
		特別養護老人ホーム 横塚荘	上原 栄里奈
	母子	ルフレハ尾	桑田 将格

(順不同・敬称略)



史上初の延期開催となった東京五輪。新型コロナウイルス感染症の対策による、さまざまな制限のなかで、選手たちは練習を重ねました。努力は実を結び、オリンピックでは日本過去最多となる58個のメダルを獲得。また、パラリンピックでは51個のメダル獲得し、困難な状況に打ち勝つ「真の強さ」に勇気を与えられました。

会議や研修は、リモート開催が主流に。従事者部会でも、オンラインの委員会でコロナ対応について協議されてきました。そこで、先が見えない不安を抱えながら、試行錯誤し対応する日々を送っているのは全

種別共通であると実感。同時に、他の種別との「連繋(つながり)」を強みに、必ず乗り越えられる日がくると感じました。

従事者部会70周年。先輩従事者の功績を振り返るとともに、これから私たちに何ができるのかを考える年にしたいと思います。



「かがり火」キャラクター
『照子ちゃん』

従事者部会とは

“大阪府社会福祉施設
全従事者の会”

(会員施設は令和4年4月1日現在)

◎保育部会 742施設

民間保育園、認定こども園を対象とした組織。

◎老人施設部会 468施設

特養、養護、軽費、ケアハウスなどを対象とした組織。

◎成人施設部会 100施設

救護・更生施設等、身体障がい関係施設、知的障がい関係施設を対象とした組織。

◎児童施設部会 80施設

児童養護施設、乳児院、児童心理治療施設などを対象とした組織。

◎セल्प部会 117施設

授産施設を対象とした組織。

SELPとは、Sサポート(支援)、Eエンプロイメント(就労)、Lリビング(社会生活)、Pパーティシペーション(社会参加)の略。

◎母子施設部会 7施設

母子生活支援施設を対象とした組織。

◎医療施設部会 21施設

無料低額診療事業施設を対象とした組織。

～令和4年度 従事者部会

研修会予定(7月1日以降)～

●マナー研修

●第1回集団指導者養成教室

●リーダー養成研修

●第2回集団指導者養成教室

●民間共済会との共催事業

●常任委員宿泊研修会

●従事者部会人権研修会

●第3回集団指導者養成教室

現時点での予定ですので変更することがございます。

◆ 研修会についてのご意見・

ご感想などをお寄せください ◆

〒542-0065

大阪市中央区中寺1丁目1-54 大阪社会福祉指導センター内
大阪府社会福祉協議会 施設福祉部 従事者部会事務局

TEL : 06-6762-9001 / FAX : 06-6768-2426